

For SUPER

SUPERのフィッティング画面

- 標準フィット**：標準的なフィッティング手順です。
- チャイルドフィット**：乳幼児を対象に調整する際のフィッティング手順です。ゲインやお知らせ音などが乳幼児に適した初期設定となります。

顧客

- 履歴**：お客様の難聴および補聴器の履歴についての情報を入力します。
- フィッティングの目標**：フィッティングの前にお客様と話し合い、フィッティングの目標を入力します。

選択

補聴器の器種を直接選ぶことができます。

フィッティング(初期設定)

フィッティング状況が表示されます。

- 計算条件**：補聴器の初期設定に使用する条件を確認・変更することができます。
- センソグラム**：補聴器から測定音を呈示し、お客様の最小可聴閾値を測定します。
- フィードバックテスト**：補聴器を装着した状態で、ハウリングしないゲインの限界を確認します。

ファインチューニング(微調整)

ゲインや機能の設定を行います。

- サウンドダイアリー**：お客様が補聴器を装着した環境を記録してデータを分析しますので、カウンセリングや微調整の際に効果的です。
- 調整の記録**：ユーザーの設定状態で特性を測定する場合に使用します。(テストモード2)

調整の完結

- 補聴器の構成**：お客様のニーズに合わせて、プログラムを切り替えた時のお知らせ音、バッテリーアラームの音などを変更することができます。

- ★ **DEXマッチング**：DEX機器を使うための設定をします。
- 説明ツール**：お客様に補聴器とリモコンの操作方法を説明する際に使用します。
- 質問用紙**：フィッティング前に設定した質問用紙の目標が達成されたかをお客様と話し合います。

閉じる

★DEX機器の設定については「CLEARクイックガイド(DEX機器とマッチング)」をご参照ください。

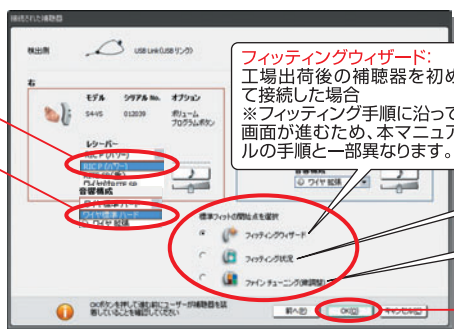
！補聴器を読み込めない場合は…

- 次の内容を確認してください。
- ・補聴器はプログラミングインターフェースの通信範囲内に位置していますか？
 - ・補聴器に消耗していない電池が入っていますか？
 - ・補聴器の電源がオンになっていますか？

3 ユーザーが使用する音響構成のタイプを選択します。

- ① ユーザーの聴力に応じて使用するレシーバーのタイプを選択します。
- ② RITE SP(重)の場合は、ユーザーが使用するイヤモデルを音響構成から選択します。

レシーバー・耳せんの選択の目安など詳細は「SUPERクイックガイド＜音響構成＞」をご参照ください。



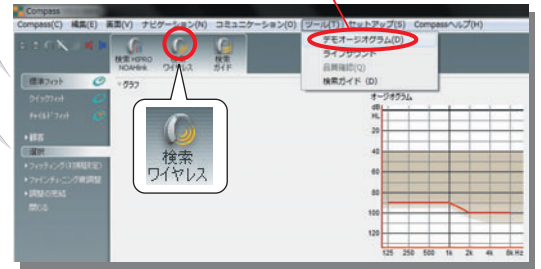
フィッティングウィザード：
工場出荷後の補聴器を初めて接続した場合
※フィッティング手順に沿って画面が進むため、本マニュアルの手順と一部異なります。

フィッティング状況：
新規でフィッティングする場合(試聴器の場合など)

ファインチューニング(微調整)：
再調整の場合

4 チェックを入れ、「OK」をクリックします。

1 Compass Demoの場合は、「ツール」から「デモオーディオグラム」を選択し、オーディオグラムを入力します。NOAHを使用する場合は、NOAHにオーディオグラムを入力します。

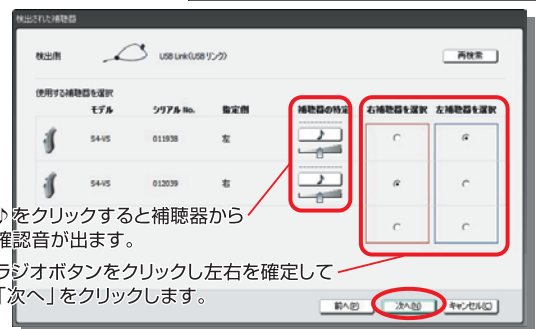


2 「検索 ワイヤレス」のアイコンをクリックします。



使用しているインターフェースを選択して「次へ」をクリックします。

この補聴器をカスタムイヤモデルとご使用になる場合は、132dB SPLを超える出力が可能になります。残存聴力に影響を及ぼす場合がありますのでフィッティングに際しては、特にご注意ください。



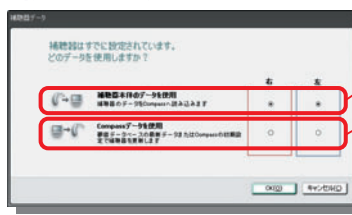
をクリックすると補聴器から確認音が出ます。
ラジオボタンをクリックし左右を確定して「次へ」をクリックします。

！音響構成を変更した場合は…



確認のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると変換が開始され、補聴器に入っているデータは初期化されます。

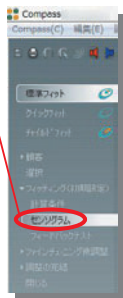
！読み込みの途中でこのメッセージが表示されたら…



- 再調整の場合
- 最初から調整し直す場合

＜NOAHの場合＞ 補聴器からデータを読み込む場合は「補聴器本体のデータを使用」を、NOAHに保存されている調整を補聴器に上書きする場合は「Compassデータを使用」をクリックします。

5 「センソグラム」をクリックします。

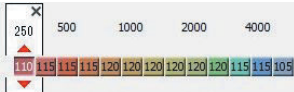


6 測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルを合わせます。(各周波数の気導閾値+10からスタート)

7 カーソルを「♪」に合わせ、最小可聴閾値を測定します。(1000⇒2000⇒4000⇒500⇒250Hzの順番で測定)「OK」をクリックします。

「マウス矢印指示」:
「♪」にカーソルを合わせると測定音が表示されます。
「手動」:
「♪」をクリックすると測定音が表示されます。
「自動」:
数値を変更すると自動的に測定音が表示されます。

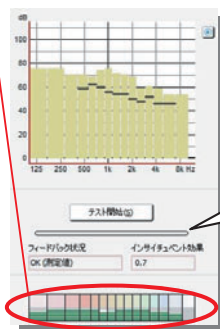
聴力レベルの変化が急な場合などは、
エクスパンドセンソグラムを測定します。



8 「フィードバックテスト」をクリックします。



9 全てグリーンになっているか確認します。



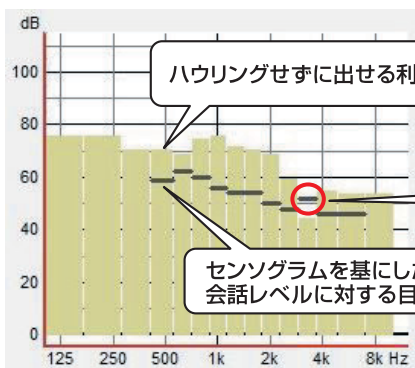
「テスト開始」をクリックし、FBテストを行います。
「テスト完了」後、「フィードバック状況」の欄が「OK(測定値)」であることを確認し「OK」をクリックします。
「グラフ確認(測定値)」の場合は再度フィードバックテストを行います。

10 「テスト開始」をクリックし、FBテストを行います。

「テスト完了」後、「フィードバック状況」の欄が「OK(測定値)」であることを確認し「OK」をクリックします。

「グラフ確認(測定値)」の場合は再度フィードバックテストを行います。

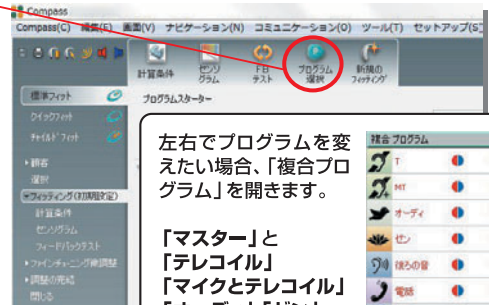
フィードバックテストで「グラフ確認(測定値)」が出た場合は・・・



緑の棒グラフが黒線を少しでも下回ると「グラフ確認(測定値)」になります。
緑の棒グラフが黒線を下回った場合、ハウリングしないよう利得に制限をかけている状態で会話の聞き取りが十分できているか確認します。(目安として緑の棒グラフと黒線の差が10dBの範囲内であれば実用上問題ありません。)

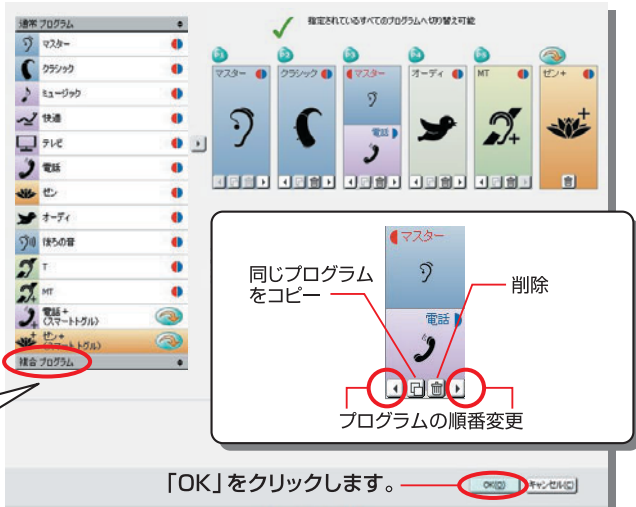
シェル・イヤモールドのゆるみなどによる音漏れでハウリングしやすくなっているか、テスト中に周囲のノイズが入ってしまったことが考えられます。
補聴器を装着し直してから、静かな場所で再度フィードバックテストを実行し、グラフを確認してください。
ただし、お客様の聴力がその器種のフィッティングレンジの上限に近い場合は、「OK」が出にくくなる場合があります。

11 プログラムを設定する場合は、クリックします。(微調整画面でも設定できます。)



左右でプログラムを変えたい場合、「複合プログラム」を開きます。
「マスター」と「テレコイル」「マイクとテレコイル」「オーディオ」「ゼン」「後ろの音」「電話」の中から組み合わせることができます。

12 プログラムを選択して「▶」をクリックすると、プログラムが追加されます。



ゼン、ゼン+は対応モデルの場合に選択可能

13 「ファインチューニング微調整」をクリックします。

マイクモード (指向性)

- ・HDローター+デジタルピナ ※1
- ・HDローター
- ・HDローター無指向性+デジタルピナ ※1
- ・HDローター無指向性
- ・HDローター指向性 (固定)

スピーチ・ノイズ モード (騒音制御)

- ・スピーチエンハンサー ※1
- ・オフ
- ・騒音制御 標準(SIS)
- ・騒音制御 弱(SIS)
- ・騒音制御 強調(SIS)
- ・騒音制御 快適

インパルスサウンドモード (衝撃音抑制) ※1

- ・トゥルーサウンドソフトナーオン
- ・トゥルーサウンドソフトナープラスオン
- ・トゥルーサウンドソフトナーオフ

フィードバックキャンセル モード

- ・スーパーゲイン
- ・スーパーゲイン最大 ※1
- ・スーパーゲインミュージック
- ・オフ

※1はSUPER440のみに搭載

基本的には、各プログラムの初期設定(*)でお使いいただくことをお勧めします。

騒音下でうるさく感じる、高い音が気になるなどの場合は「標準(SIS)」を、騒音下で静かになりすぎるなどの場合は「弱(SIS)」をお試しいただくことをお勧めします。

14 音の大きさや音質の各種調整を行います。

IGラウド

- ・かなり大きな音
- ・衝撃音の間こえ
- ・自分の声(低域)

IGノーマル

- ・会話音レベルの音
- ・少し大きめの音
- ・テレビの音

IGソフト

- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・遠くの音の聞こえ方

順応 「順応」の段階を調整することによって補聴器の音に慣れるまでの間、使用する音量を下げた状態に調整できます。

SUPER440では4つの基本周波数バンドの設定をするか全ての周波数バンドの設定をするか選択できます。(SUPER220は4バンドのみ)

大きな音(ラウド) 大きな音の低域～高域の調整

小さな音(ソフト) 小さな音の低域～高域の調整

MPO dB HL	500	1000	2000	4000
IGラウド	40	43	38	31
IGノーマル	59	65	63	54
IGソフト	65	74	69	54

15 他のプログラムの音も聞いていただき、必要に応じて微調整します。

通常は、連結 (マスターを基にした設定) になっていますが、各プログラムで個別に調整する場合は「ゲイン調整をマスタープログラムに連結しない」ボタンをクリックします。

16 「調整の完結」から「補聴器の構成」をクリックし、必要に応じて各項目の設定を変更します。

スタートモード:
補聴器の電源を入れた時のモードを変更できます。フィードバック対策(初期設定):補聴器を装着する際のハウリングを抑えるため、電源をオンにした後、約12秒間音が小さくなっています。標準:補聴器の電源をオンにした後、補聴器がすぐに起動します。

ボリューム変化幅(初期設定値 1.5dB):
ボリュームコントロール操作をした時の音の大きさのステップを1dBまたは2dBに変更できます。

ゼン+(スマートグル)使用中、ボリュームコントロールをゼントーンにも反映させるかを選択できます。※2

オンの状態では片側の補聴器を操作するともう一方の補聴器も同時に変更されます。

両耳間 構成:
これらの項目全てがオンの状態でSUPERシリーズの特長であるIE(両耳間協調)機能が十分に発揮されます。基本的に初期設定の状態でお使いいただくことをお勧めします。

スタートモード
フィードバック対策
プログラムボタン有効
ボリューム有効
プログラムボタン有効
ボリューム有効
ボリューム変化幅
1.5 dB
ゼン+プログラムでのボリューム効果
トーンレベルも調整
マイク入力量にトーンレベルも調整
両耳間協調確保
ボリュームコントロール
プログラム切替
※1 圧縮機能
※1 騒音制御(スピーチエンハンサー)
フィードバックキャンセリング
※2 ゼン

スマートトーン: SUPER初期設定
(ビープ音によるお知らせ)

スマートスピーク
(音声によるお知らせ):
アイコンをクリックすると、スマートスピーク(音声)の言語と男声/女声を変更できます。

周波数 スマートトーン
(初期設定 500-850Hz):
スマートトーン(ビープ音)の周波数を変更できます。
スマートトーン スピード・プログラム切替
(初期設定 標準):
プログラムを変更した時のビープ音の間隔を変更できます。
(例:ピピッピッ/ピッ...ピッ)

ボリューム変更時(初期設定 有効)
プログラムボタン使用確認(初期設定 有効)
プログラム切替(初期設定 有効 スマートトーン(ビープ音))
動作開始時(初期設定 有効 スマートトーン(ビープ音))
バッテリーアラーム(初期設定 有効 スマートトーン(ビープ音))
チェックを外すと、操作時の音を無効にできます。
通信相手 未検出時の警告※1(初期設定 無効):
両耳装着時両耳間で通信が途切れた時のお知らせ音声

お知らせ音の**大きさ**を変更できます。
レベル調整 - スマートトーン
レベル調整 - スマートスピーク
レベル調整 - プログラムボタン使用確認

クリックすると左右個別に設定ができます。

補聴器から音を出して確認できます

お知らせライト(初期設定 無効):
チェックを入れると、補聴器の動作に合わせてLEDを発光させることができます。

RC-DEX 信号受信
RC-DEXからの信号を受信した時にLEDを点滅させることができます。

補聴器動作・プログラム
4秒ごとに1つの短い発光
-補聴器電源がオン、または
-指定したプログラムが使用されている

RC-DEX 信号受信
補聴器動作・プログラム
補聴器に設定されたプログラム毎に設定可能

※1: SUPER440のみ
※2: ゼン対応モデルのみ

17 フィッティングと各種設定が完了したら、「閉じる」で終了します。

18 調整データの保存の有無を選びます。(NOAH使用時のみ)

19 OKをクリックします。

データ記録機能の開始/継続/停止を選択します。

チェックを入れた項目を印刷できます。

20 Compassと補聴器の間でデータの通信が終了すると、補聴器から「ポーン」(スマートトーン設定時)または「右(左)準備完了」(スマートスピーク設定時)と音が出ます。

そのままお客様は補聴器・DEX機器の操作が可能になります。

! このメッセージが表示されたら...

Compassは信号処理中であり、まだデータ通信中に補聴器が通信範囲から外れるとこのメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてCompassを終了するのをお待ちください。(Compassを閉じパソコン画面上ではCompassが消えていてもパソコンと補聴器の間でデータの通信が行われています。USBLinkまたはnEARComのインジケータが早い点滅の時は通信中です。長い点灯の後ゆっくりとした点滅に変われば通信は終了していることを確認できます。)

Compassは信号処理中です。Compassはプログラムを処理するために、数秒の時間がかかります。このメッセージを閉じるためには「OK」を選択し、再試行して下さい。